

平成 29 年度
副市長レビュー（秋）
協議事項一覧

副市長レビュー（秋）【協議事項一覧】

1 危機管理課

No.	所管課	事項名	論点	結論
1	危機管理課	災害情報手段整備事業について	要求仕様について	再度、調査研究等を行い検討

2 市民部文化振興担当

No.	所管課	事項名	論点	結論
1	創造都市・文化振興課	2020文化プログラム推進事業について	ユネスコ創造都市ネットワーク加盟による3年3事業後に施策の方向性及び具体的な取組について	提案どおり進める
2	スポーツ振興課	大型スポーツイベント等誘致事業について	<ul style="list-style-type: none">・ブラジル選手団受け入れに係る2020年までの全体計画について・求める政策効果とそれに対する事業構成について	提案どおり進める

3 学校教育部

No.	所管課	事項名	論点	結論
1	指導課	中学校の部活動指導員・外部指導者の配置等について	<ul style="list-style-type: none">(1) 教職員の多忙化解消の基本的な考え方と具体的な取組について<ul style="list-style-type: none">・部活動ガイドライン、タイムレコーダー、校務アシスタント等(2) 部活動指導員と外部指導者の制度設計について<ul style="list-style-type: none">・身分、任用、職務、勤務形態、報酬等	提案どおり進める

副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	危機管理監 (危機管理課)	
2 協議事項 (案件名)	災害情報手段整備事業について	
3 背景・現状	<p><平成 29 年 6 月副市長レビュー結果について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務部と事業スケジュール及び予算要求時期について協議すること。 	
4 検討経過・課題	<p><財務部との協議結果について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業予算は、平成 30 年度の当初予算要求とする。整備工事（緊急防災・減災事業債対象外である屋外スピーカー撤去工事を除く）については、平成 32 年度の完成を目標とする。 <p><副市長との調整結果について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在予定している入札用の要求仕様で、本市が求めるべき事業者提案が受けられるか検証すること。 	
5-1 方向性の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外スピーカー及び屋内専用受信端末について、本市が求めるべき提案が受けられるよう要求仕様を修正し、平成 32 年度を目標に整備する。 	
5-2 論点 方向性の決定 に向け議論 する事項	<p>要求仕様について</p>	
6 結果	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input checked="" type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用受信端末の貸与や屋外スピーカー設置に係る考え方などを検証すること。
7 その他		

副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	市民部 (創造都市・文化振興課)	
2 協議事項 (案件名)	2020 文化プログラム推進事業について	
3 背景・現状	<p>・国から 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、<u>日本固有の文化の魅力を世界に広く発信する文化プログラム</u>について国を挙げて取り組む方針が示されている。</p>	
4 検討経過・課題	<p>・2020 年の東京オリンピック・パラリンピックのタイミングを好機と捉え、本市の地域固有の文化を再評価し、創造的な発想で付加価値を創出する新たな取り組みが求められる。</p> <p>・本市の強み、特徴として、<u>音楽、サウンドデザイン、多文化共生、ブラジル人を中心とする在住外国人の集積</u>などが挙げられ、ユネスコ創造都市ネットワークや ICC への加盟、2020 年オリンピック・パラリンピックに係るブラジルチームの事前キャンプの誘致を活かし、以下 3 つのテーマを踏まえ戦略的事業を推進する必要がある。</p> <p>(1) 創造都市として 2020 年以降も継続的に地域固有の文化を世界に発信し、<u>誘客・交流人口を更に拡大</u>すること (文化観光産業の振興と地域の活性化)</p> <p>(2) 音楽の多様性や創造性を追及し、サウンドデザインなど<u>地域経済の活性化</u>に結びつけていくこと (創造産業の振興)</p> <p>(3) 外国人、障がい者や高齢者も含む<u>すべての人々が文化創造の担い手として輝く</u>、<u>音楽などを通じて響き合う新しい文化イベント</u>を創出すること (市民の誰もが創造性を発揮して輝く創造都市の実現)</p>	
5-1 方向性の提案	浜松ならではの音楽事業 beyond2020 プログラム認証事業 (2020 年以降の文化プログラム含む)	
5-2 論点 方向性の決定に向け議論する事項	ユネスコ創造都市ネットワーク加盟による 3 年 3 事業後の施策の方向性及び具体的な取組について	
6 結果	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	具体的内容
7 その他		

副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	市民部 (スポーツ振興課)	
2 協議事項 (案件名)	大型スポーツイベント等誘致事業について	
3 背景・現状	<p>2016.6.ブラジルのホストタウンに登録 ※ホストタウンとは、多くの選手・観客の来訪を契機に、事前キャンプ等を通じ大会参加国との人的・経済的・文化的な交流に取り組むことで、オリパラの開催効果を全国に波及させ、地域の活性化等を推進することを目的としている。</p> <p>※これまでの多文化共生の歴史を舞台に、浜松市はブラジルを対象国とした。</p> <p>2017.6.ブラジルオリンピック委員会との覚書締結（浜松） 2017.8.ブラジルパラリンピック委員会との覚書締結（サンパウロ） ※ブラジル選手団が本市でキャンプを張ることは決まった。現在は、キャンプ誘致のロビー活動から具体的な受け入れの計画が必要であり、練習会場や受け入れ体制などの環境づくりの検討が急がれる。</p> <p>2017.9.受け入れ体制の検討に向けて庁内連携会議を立ち上げた。 2017.9.【9月議会：自民党代表質問 鳥井議員】多数のブラジル選手団受け入れに向けて、オール浜松で対応する官民連携組織を立ち上げると回答。</p>	
4 検討経過・課題	<p>2017.9月に立ち上げた庁内連携会議において、官民連携組織の立ち上げに向けて準備を進めている。</p> <p>目指す姿（案） 日本人市民もブラジル人市民も心をひとつに。 浜松市民は、ブラジル人選手に心から声援を送る。</p> <p>目指す姿実現に向けた目的・課題（案） ・ブラジル選手団を確実に受け入れるために ・浜松でオリパラレガシーを根付かせるために ・浜松の魅力をアピールするために</p> <p>※課題に対応した事業を推進していく。</p>	
5-1 方向性の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル選手団の誘致はスポーツコミッション推進大会に位置付けられるもので、事業の必要性を明確にし、向かうべき目標を掲げることが求められる。 ・本事業の目指す姿を共有し、ブラジルとの交流に拍車をかけたい。 ・目指す姿の実現に向けて、官民連携組織を立ち上げるとともに、ブラジル選手団受け入れに向け、事業を推進していく。 	
5-2 論点 方向性の決定 に向け議論 する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル選手団受け入れに係る 2020年までの全体計画について ・求める政策効果とそれに対する事業構成について 	
6 結果	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他 	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費等については所管部署と調整すること。
7 その他		

副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	学校教育部 (指導課)	
2 協議事項 (案件名)	中学校の部活動指導員・外部指導者の配置等について	
3 背景・現状	<p>(1) 本市の運動部活動の状況(中学校 49 校)</p> <p>ア 生徒の部活動加入状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則全員加入制 36 校、男子 82.3%、女子 64.1%の生徒が運動部所属 <p>イ 外部指導者の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校体育連盟に登録している外部指導者が 197 名 ・顧問教員の補助として、無償で技術指導等にあたっている <p>(2)背景</p> <p>ア 教員の多忙化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 年間で土日の部活指導時間は 1 時間 4 分増加して 2 時間 10 分(国) ・第 2 回浜松市総合教育会議で教員多忙の要因として部活動に着目 <p>イ 専門的指導者の不足 (国資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当が体育科ではなく、担当部活動の競技経験がない教員は 45.9% 	
4 検討経過・ 課題	<p>(1)課題</p> <p>ア 浜松市中学校部活動ガイドラインの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習時間、休養日、指導方法、部活動指導員・外部指導者の活用等 <p>イ 専門的知識・技能を有し、単独で指導や引率ができる指導員の配置</p> <p>【期待される効果】教員の働き方改革、部活動の質的な向上</p> <p>(2)検討経過</p> <p>平成 29 年 1 月 浜松市部活動ガイドライン検討委員会を設置</p> <p>3 月 学校教育法施行規則改正(国)「部活動指導員」を規定</p> <p>5 月 国がガイドラインの内容とスケジュールを発表</p> <p>9 月 外部指導者へのアンケート調査実施</p> <p>10 月 部活動指導員・外部指導者の配置要綱の検討</p> <p>平成 30 年 1 月 国ガイドライン概要版発表 (予定)</p> <p>3 月 国ガイドライン公表、市ガイドライン公表 (予定)</p>	
5-1 方向性の 提案	<p>(1)今年度中に浜松市部活動ガイドラインを策定</p> <p>(2)来年度から部活動指導員と外部指導者を配置</p>	
5-2 論点 方向性の決定 に向け議論 する事項	<p>(1)教職員の多忙化解消の基本的な考え方と具体的な取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動ガイドライン、タイムレコーダー、校務アシスタント 等 <p>(2)部活動指導員と外部指導者の制度設計について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身分、任用、職務、勤務形態、報酬 等 	
6 結果	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の詳細については所管部署と調整すること。
7 その他		